

牧草園藝

第十七卷・第五号

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可
昭和四十四年五月一日(毎月二回)日発行



雪印種苗株式会社

飼料用かぶ品種の使い分け

飼料用かぶは乳牛の嗜好性良く、多汁質で泌乳量を増大し、また栽培が容易で生育期間短く多収であることなど優れた点を具備し、北海道から九州まで全国的に栽培されている重要な作物です。

飼料用かぶの主要4品種の特性および適応地域等は次の通り。

品 種 名	根 色	収 量	早 晩 性	生育 日数	播種時期		適 地 域	
					春	秋	春まき	秋まき
雪印・紫丸かぶ	紫	中	早	90	○	○	全 国	北海道、東北
小岩井かぶ	緑	大	中	110		○		東北
雪印・下総かぶ	緑	大	中	130		○		全国（北海道を除く）
セブントップ	緑	大	晩	150		○		九州、四国

◎雪印・紫丸かぶ

極早生系で短期間に生育し10㎡当たり5～6トンの収量が得られ、主として北海道・東北地方・府県高冷地の秋まき栽培<7月中～下旬播種>に適しています。最近では温暖地の秋冷期の短期栽培にも利用されています。

また低温にあっても抽苔しないため、早春播種利用もでき、飼料用かぶの唯一の春まき品種でもあります。

◎小岩井かぶ

小岩井農場育成品種で、東北地方北部に適し重用されています。

貯蔵力に富んだものを得るためには110日くらいの生育日数を必要とし、圃場の関係でその日数が得られないときは苗仕立て移植をすべきです。

◎雪印・下総かぶ

青首系飼料用かぶの代表品種で、東北地方北部・北海道を除き全国的に広く栽培利用されています。

生育日数は120～130日を要し、よく生育すると1個1.5kg以上になり、葉部の生長もよい巨大な多収品種です。

草酪農研究農場<千葉市>において、多収と貯蔵性の向上を目的として個体選抜、系統集団選抜を継続しております。

ただし早春播種栽培しますと、低温感応性が高く抽苔現象を生じます。



◎セブントップ

極晩生系で生育期間の長い九州・四国地方など西南暖地の栽培に適し多収がえられます。

葉は直立型で葉数多く、根部の肉質硬く、べト病、ウイルス病等に抵抗性を示した冬季の耐寒性も良好です。